

2022年10月



「日本語を学ぼう」から
「日本語で学ぼう」まで
についてお話しします。

新潟大学留学センター



新潟大学で学ぶ日本語について

知識として単に日本語をインプットするのは、ウェブ教材等を用いて個人でもできます。しかし自身の声を発信するための日本語力の養成は、独習ではとても困難です。そのため新潟大学では、発信するための日本語力を養成することに主眼を置いています。自分の主張を様々な場面に応じて日本語で的確に発信するためには、最適な日本語がその場ですぐに取り出せる状態で、まず頭に入っていなければ間に合いません。ではそのために必要なことは何でしょうか。それは今までの文法中心の言語学習観を捨てることです。考えてみてください。これまで文法中心の学習で、日本語による豊かな発信者にあなたはなれましたか。「これだけ頑張っているのに、まだまだうまく日本語で伝えられない」と思っている人がほとんどではありませんか。

文法を勉強したら、その言語をキッチリ学んだ気にはなります。しかし、それは「勉強した気になるだけ」であって、その言語の使い手になるためのトレーニングをしたわけではありません。日本語で発信できる「日本語の使い手」になるためには、日本語を操るためのトレーニングが必要なのです。

何らかのスポーツ経験者ならわかると思いますが、でたらめに動いていても上手にはなりません。そのスポーツが上手にできるようになるためには、基本の型を身に付ける必要があります。ですから日本語学習でもまず、この基本の型を身に付けるための地道な努力こそが求められるのです。地道な努力とは、同じことの繰り返しであっても、集中して継続し続けることです。それができれば、そして基本の型が身に付けば、そこから自然と自分の型は生まれてきます。自分の型とは、つまり応用する力です。繰り返し身に付けるという努力を続ければ、必ず誰でも応用する力にたどり着けます。

新潟大学では、この『基本の型』を身に付けるための授業は、「日本語を学ぶ」授業として発話・対話編、作文編に分けて開講しています。ある程度基本の型が身に付いている人には、上級者として『自分の型』の習得を目指し、さらに日本語に関する知識をインプットするための授業を開講しています。

また「日本語を学ぶ」授業以外にも、「日本語で学ぶ」授業では、実際に日本人学生と一緒に授業に参加できますし、日本社会・文化と日本人について「英語で学ぶ」授業もあります。

さらに、日本語教育について知りたいという人向けの「日本語教育について学ぶ」授業も用意しています。



〔一般学生対象授業〕 交換留学生は受講できます。
 ー 『基本の型』 の習得を目指した授業ー

期間は科目により異なります。

■ターム開講

8週間（ひとつのターム）

■セメスター開講

15週間（連続するふたつのターム）

《作文編》

「日本語作文Ⅰ」「日本語作文Ⅳ」 ■セメスター開講

日本語による論文作成、レポート作成が必要な学生対象。

JLPT-N1以上が望ましい。最低 JLPT-N2が必要。

「日本語作文Ⅰ」「日本語作文Ⅳ」では、参加者それぞれの書いた日本語の「文章」を、その意図が正しく伝わるよう、論理的な展開を組み立てなおし、かつ構文的にも正しい日本語に修正した上で、書き直しの作業をする。加えて、適切な日本語で作文ができるように、教師が準備した日本語文章例の正確な書き写しも並行して行う。その際には、論理展開を理解することはもちろん、構文の間違い、助詞の間違い、漢字の送り仮名の間違いなどの排除も徹底することが求められる。

《発話・対話編》

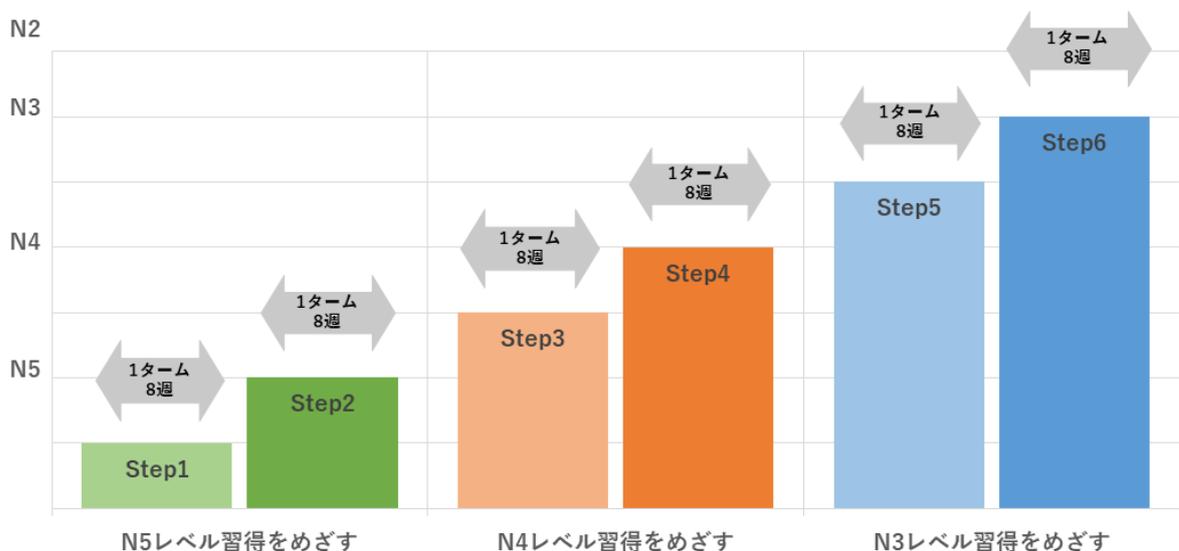
「日本語 Step 1ー6」 ■ターム開講

週2回・火曜日1限・木曜日1限の週2コマ、いずれも必須参加。

Step 1ー6では、誤解をまねかない日本語で発話できるように、モデルテキストの音読・暗誦を徹底して行う。その際はただ覚えればよいのではなく、必ず最適なリズムとトーンで発話することが求められる。

Stepを選ぶにあたっては、日本語能力試験のウェブサイトで自分のレベルを確認すること。

日本語能力試験>N1～N5:認定の目安 <https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>



各ターム1科目のみ受講できます。

どのStepからでもスタートできます。

受講したStepに合格できなければ、次のStepを受講することはできません。

同じStepをもう一度受講してください。

〔一般学生対象授業〕 交換留学生は受講できます。

— 『自分の型』の習得を目指した授業（さらに日本語に関わる知識をインプットする）—

科目名	内容								
■セメスター開講 日本語読解 I / II / III / IV / V / VI	JLPT-N2 以上が望ましい。I～VI は内容が異なる。 <table border="1"> <tr> <td>○事実関連</td> <td>○文学関連</td> </tr> <tr> <td>I : 新聞記事など</td> <td>IV : 詩歌など</td> </tr> <tr> <td>II : 論文の読解など</td> <td>V : 小説など</td> </tr> <tr> <td>III : 新聞の論説文など</td> <td>VI : 和歌・俳句など</td> </tr> </table>	○事実関連	○文学関連	I : 新聞記事など	IV : 詩歌など	II : 論文の読解など	V : 小説など	III : 新聞の論説文など	VI : 和歌・俳句など
○事実関連	○文学関連								
I : 新聞記事など	IV : 詩歌など								
II : 論文の読解など	V : 小説など								
III : 新聞の論説文など	VI : 和歌・俳句など								
■ターム開講 英語による日本語文法解説 中国語による日本語文法解説	日本語の文法について、解説するレクチャー（一方向型）授業。いずれも中級（JLPT-N2 レベル）の教科書を使用します。								

日本語で学ぶ

「多文化間共修 A/C」 ■ターム開講

* 上級者向け。JLPT-N1 レベルが望ましい。

「アクティブラーニング B/C」 ■ターム開講

* B は日本語・英語両方で行う。C は主に日本語で行う。

「国際共修 B」 ■セメスター開講

英語で学ぶ

「アクティブラーニング A」 ■ターム開講

「日本と外国人」 ■ターム開講

授業の内容をシラバスで
確認しましょう!

<https://www.niigata-u.ac.jp/campus/life/class/course/>

<注意事項>

- すべての科目について、クラス分けテストはありません。
- 自分のレベルを知るにはこちら日本語能力試験のページを見てください。
<https://www.jlpt.jp/about/levelsummary.html>
- どのクラスも正規学部生および協定校からの学部交換学生が優先です。クラスに余裕がある場合には、大学院学生も受講できます。
- クラスに余裕がある場合には、研究生も日本語 Step1～6 のいずれか、各タームにつき 1 科目の受講を認めます。すでに日本に来ている研究生に限定します。
- 学生の家族・研究員・外国人教員は受講できません。

〔国費学生等対象授業〕 私費留学生（交換留学生含む）は受講できません。

所属部局を通じての事前申込制となっています。

「集中日本語 0」: 週 5 回・平日（月～金）午後 1 コマ、5 回とも参加必須。欠席不可。

「日本語入門」: 週 3 回・平日（月・水・金）すべて 4 限、3 回とも参加必須。欠席不可。

※文科省の奨学金支給を受ける国費外国人留学生。これに準じて、JICA プログラム学生等も対象とします。

※新潟大学での学位取得を目指す学生のみ。日本語日本文化研修生を含め、学位取得を目的としない学生は参加できません。

大切なこと

1. 掲載する科目のほとんどは、オンライン授業です。

パソコンか、タブレットか、スマホを準備してください。

⇒ パソコンは、カメラ・マイクがあれば、デスクトップでも、ノートでも OK!

⇒ タブレットとスマホの人は、Zoom のアプリをダウンロードする。

【注意】 Zoom が使えないと、受講できません。

2. 申請は「学務情報システム」で行います。

科目の申請は9月20日(火)からです。

注意：10月1日が入学日の場合、10月1日から申請できます。

第3ターム・2学期科目の期限：第1回目の授業日の前日まで (10/2~10/6)

第4ターム科目の期限：10月6日(木)まで

《履修申請の手順》

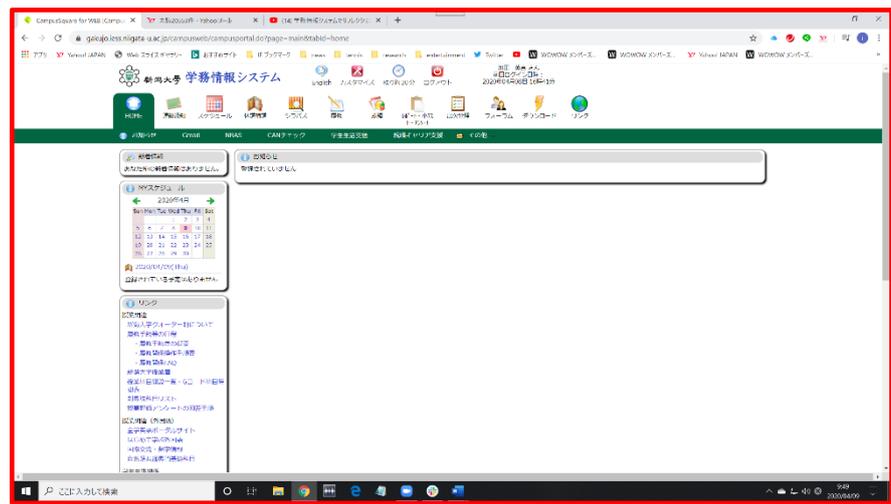
⇒ [学務情報システム](#)で申請する。

⇒ 先生から「連絡通知」が来る。指示に従って、クラスを受講する。

※ 「連絡通知」が届かない人は、登録ができていません。



Zoom



学務情報システム

3. 教科書を注文します。

教科書があるかどうかを6ページで確認してください。

以下の手順で購入できます。

⇒ 「テキスト・教材申込書」を[ダウンロード](#)する。

⇒ 申込書に記入して、凡人社にメールで送る。

海外にいる学生は、凡人社に支払い方法を相談する。

⇒ 凡人社からメールが届く。メールには、本のお金と送料が書いてある。

⇒ 代金引換か、クレジットカードでお金を払う。

海外にいる学生の支払い方法は、クレジットカード (VISA/MASTER) のみです。

⇒ 本が自宅に届く (代金引換は、このときにお金を払う)。

2022年度第2学期（第3・第4ターム）日本語・多文化関連科目

※2022年9月20日から学務情報システムで履修申請ができます。

※受講したい科目のシラバスを確認してください。

<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

※教科書の購入が必要な科目があります。

【第3・4ターム通して開講 10月3日～2023年2月13日】 ※第1回目の授業日の前日までに登録してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	教科書がある ✓	日本語 初中級者向け ✓	オンライン✓ Zoomにより実施
220G4520	日本語作文Ⅰ	1	第3,4ターム	月1	TBA		✓
220G4523	日本語作文Ⅳ	1	第3,4ターム	水4	TBA		✓
220G4524	日本事情社会系A	2	第3,4ターム	水2			✓*
220G4525	日本事情自然系B	2	第3,4ターム	水3			✓*
220G4528	日本語読解Ⅰ（事実関連読解：教科書や新聞記事など）	1	第3,4ターム	月3	✓		✓
220G4529	日本語読解Ⅱ（事実関連読解：論文など）	1	第3,4ターム	水4	✓		✓
220G4530	日本語読解Ⅲ（事実関連読解：新聞の論説文など）	1	第3,4ターム	金4	✓		✓
220G4531	日本語読解Ⅳ（文学読解：詩歌など）	1	第3,4ターム	月4			✓
220G4532	日本語読解Ⅴ（文学読解：小説など）	1	第3,4ターム	水4	TBA		✓
220G4533	日本語読解Ⅵ（文学読解：和歌など）	1	第3,4ターム	金4			✓
220G3744	国際共修：グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションB	2	第3,4ターム	木3			✓
220G3745	国際共修：留学生との協働学習を通じた異文化理解B	2	第3,4ターム	月3		✓	✓

*9/16更新

【第3タームのみ開講 10月3日～12月1日】 ※第1回目の授業日の前日までに登録してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	教科書がある ✓	日本語 初中級者向け ✓	オンライン✓ Zoomにより実施
223G4501	英語による日本語文法解説	1	第3ターム	水2	✓		✓
223G4502	中国語による日本語文法解説	1	第3ターム	金2	✓		✓
223G4503	日本語Step1	1	第3ターム	火1・木1	✓	✓	✓
223G4504	日本語Step2	1	第3ターム	火1・木1	おなじ教科書	✓	✓
223G4505	日本語Step3	1	第3ターム	火1・木1	✓		✓
223G4506	日本語Step4	1	第3ターム	火1・木1	おなじ教科書		✓
223G4507	日本語Step5	1	第3ターム	火1・木1	✓		✓
223G3720	アクティブラーニングA	1	第3ターム	水1		✓	✓
223G3721	アクティブラーニングC	1	第3ターム	水1			✓
223G3722	日本と外国人	1	第3ターム	木3		✓	✓
223G3725	多文化間共修A	1	第3ターム	月3			✓
223G3727	多文化間共修C	1	第3ターム	金1			✓
223G3728	国際共修：留学生と考える日中言語文化A	1	第3ターム	火3			✓

【第4タームのみ開講 12月5日～2023年2月13日】 ※10月6日までに登録してください。

開講番号	科目名	単位	学期	曜日・時限	教科書がある ✓	日本語 初中級者向け ✓	オンライン✓ Zoomにより実施
224G4508	英語による日本語文法解説	1	第4ターム	水2	✓		✓
224G4509	中国語による日本語文法解説	1	第4ターム	金2	✓		✓
224G4510	日本語Step2	1	第4ターム	火1・木1	✓	✓	✓
224G4511	日本語Step3	1	第4ターム	火1・木1	✓		✓
224G4512	日本語Step4	1	第4ターム	火1・木1	おなじ教科書		✓
224G4513	日本語Step5	1	第4ターム	火1・木1	✓		✓
224G4514	日本語Step6	1	第4ターム	火1・木1	おなじ教科書		✓
224G3732	アクティブラーニングA	1	第4ターム	水1		✓	対面授業*
224G3733	アクティブラーニングB	1	第4ターム	水1			対面授業*
224G3734	日本と外国人	1	第4ターム	木3		✓	✓
224G3736	多文化間共修A	1	第4ターム	月3			✓
224G3737	多文化間共修C	1	第4ターム	金1			✓

*対面授業を予定する場合も、状況に応じて変更となる場合があります。